



国立大学法人
東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology



国立大学法人
一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

プレス通知資料

報道関係各位

2021年1月22日
国立大学法人東京医科歯科大学
国立大学法人東京外国語大学
国立大学法人東京工業大学
国立大学法人一橋大学

東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学の4者による「四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアムに関する覚書」を締結

東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学は、四大学連合憲章(2001年3月15日締結)に定める目標に基づき、「四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアムに関する覚書」を締結しました。

本コンソーシアムは、これまでの教育における連携にとどまらず、コロナ禍をきっかけとしてコロナ対策、あるいはポストコロナ社会に関する研究面における連携を、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学のそれぞれの研究の得意分野を生かし、かつ融合させることで進めるものです。

1 覚書締結日

2021年1月8日

2 目的

四大学連合で学際的な取組を強化し、新型コロナウイルス感染症及びポストコロナ社会に関する研究を進め、有効な対策に関する政策提言を行うとともに、四大学連合の実質的な研究及び教育の連携をさらに促進する。

3 覚書に記載された連携事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症及びポストコロナ社会に関する研究を推進するために、かかる議論を自由にできるホームページやバーチャルなデジタルサロンを作成すること。
- (2) 定期的なシンポジウム・Web会議等により、大学の枠を超えた学際的研究の推進に係る取組に関すること。

- (3) 新型コロナウイルス感染症及びポストコロナ社会に関する研究・教育を推進するために、連携して競争的研究費及び教育研究費の申請を行うこと。
- (4) 各大学から拠出した財源により大学間連携による研究・教育を促進すること。
- (5) 得られた研究成果等について連携し積極的に行政に政策提言を行うこと。
- (6) 関心のある教員、学生の参加を積極的に推奨すること。
- (7) 四大学連合による教育連携にもコロナ対策の成果を反映させるよう努めること。
- (8) その他、本事業の実現に寄与する取組に関すること。

本コンソーシアムの設立を記念して、2月12日に四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアム第1回シンポジウムを開催します。その詳細は別添のとおりです。なお、参加対象者は、四大学の教員・学生・関係者に限らせていただきます。

今後、このようなシンポジウム、セミナー等を積極的に開催し、得られた成果によってポストコロナ社会における人々の健康、ウェルビーイングに寄与するための研究プロダクトを発表していきます。

また、報道関係者を対象としたオンライン記者会見を開催します。別添にてご案内しますので、是非ご参加ください。

別添資料：

- ・ 記者会見のお知らせ
- ・ 四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアムチラシ

【問合せ先】

国立大学法人東京医科歯科大学 総務部総務秘書課

担当：広報係

メールアドレス：kouhou.adm@tmd.ac.jp

国立大学法人東京外国語大学 総務企画部広報・社会連携室

担当：広報係

メールアドレス：koho@tufs.ac.jp

国立大学法人東京工業大学 総務部広報課

担当：広報グループ

メールアドレス：media@jim.titech.ac.jp

国立大学法人一橋大学 総務部広報室

担当：広報係

メールアドレス：pr1284@ad.hit-u.ac.jp

専門知の融合が未来を射抜く総合知を培う

四大学連合 ポストコロナ社会

コンソーシアム 第1回 キックオフシンポジウム

2021年

日時

2/12 (金) 17:00 → 20:00

形式

オンライン開催

プログラム

挨拶	「四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアムについて」 東京医科歯科大学 渡邊守理事
講演	講演/文部科学省高等教育局国立大学法人支援課 堀野晶二課長
第一部	特別講演/グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金） 国井修戦略・投資・効果局長
	各大学の研究者と国井先生とのQ & A
第二部	テーマ別分科会（テーマに分かれたセッションを2回行います） 第二部はバーチャル会議システム「REMO」を使っての少人数ディスカッションです。 テーマ例：ミクロレベル「感染を調べる」、メソレベル「人の行動を変える」、 マクロレベル「コロナにまつわる法的課題」 など

特別講演



国井 修氏

グローバルファンド（エイズ・結核・マラリア対策基金）戦略・投資・効果局長

『ポストコロナ社会における大学の役割（仮）』

参加方法

下記 URL から事前登録をお願いします。
<https://bit.ly/35we5h4>



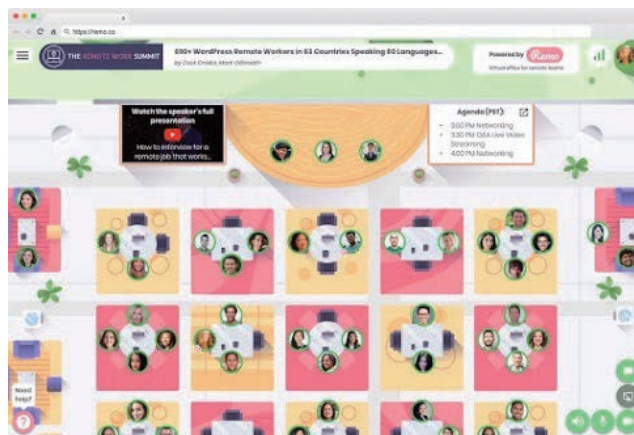
●お問い合わせ

国立大学法人東京医科歯科大学（TMDU）統合研究機構
Mail : kenkyu-soumu.adm@tmd.ac.jp

第二部 テーマ別分科会 について

設定テーマ (案)

バーチャル会議システム「REMO」を使っての少人数ディスカッションをします。ソフトやアプリのインストールは不要で、ブラウザ上で使用できます。テーマ別に用意するテーブルにご自分で自由に移動して交流できますので、実際のイベント会場の中でテーブルに着いているような感覚で、他大学の方との交流することができます。ディスカッションの成果として、ポストコロナ社会に必要な研究課題を四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアムの「Slack」に上げていただき、引き続き議論できるようにしたいと考えています。



REMOのテーブルにおける最大人数は8人のため、希望者が多いテーブルについては複数用意します。

Remo アカウントをお持ちでないと参加できませんので、参加申し込み時に必ず作成してください。(下記参照)

A. ミクロレベル

1. 感染を調べる
2. 感染・重症化リスクを予測する
3. 治療する、治療を支える
4. ワクチンを作る、接種する
5. ウイルスを抑え込む



B. メソレベル

1. 人の行動を変える①：マスク
2. 人の行動を変える②：飲食
3. コロナ差別
4. 価値観の多様性
5. リスクコミュニケーション
6. メンタルヘルスを守る



C. マクロレベル

1. コロナにまつわる法的課題
2. テレワーク、情報セキュリティのあり方
3. コロナの医療コスト・社会的コスト
4. 格差、信頼、社会的つながり
5. リモートでつながる、動かす
6. ポストコロナ社会のあり方
7. 政策効果の検証



参加申し込み時に、参加希望テーマのアンケートをいたします

申込・Remo アカウント作成：<https://bit.ly/35we5h4>